

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	レクサス純正ソフトトップコート 本剤
製品分類	布用コート剤
主な用途	自動車用ソフトトップ撥水撥油コート剤
会社名	シーシーアイ株式会社
住所	〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門	カーケア用品事業部 技術部 技術グループ
電話番号	0575-24-4632
FAX 番号	0574-24-7223
発行日	2020 年 9 月 24 日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外	
	可燃性・引火性ガス	分類対象外	
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	区分 2	
	可燃性固体	分類対象外	
	自己反応性化学品	分類対象外	
	自然発火性液体	区分外	
	自然発火性固体	分類対象外	
	自己発熱性化学品	区分外	
	水反応可燃性化学品	区分外	
	酸化性液体	区分外	
	酸化性固体	分類対象外	
	有機過酸化物	分類対象外	
	金属腐食性物質	区分外	
	鈍感化爆発物	分類対象外	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
		急性毒性(経皮)	分類できない
		急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入・蒸気)		区分外	
急性毒性(吸入・粉塵)		分類対象外	
急性毒性(吸入・ミスト)		区分外	
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2	

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

	目に対する重篤な損傷・目刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分3(麻酔作用、気道刺激)
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分2(血液、肝臓)
	吸引性呼吸器有害性	区分1
環境に対する有害性	水棲環境急性有害性	区分1
	水棲環境慢性有害性	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

危険有害性情報

- ・危険
- ・引火性液体及び蒸気
- ・皮膚の刺激。
- ・重篤な目への刺激。
- ・遺伝性疾患のおそれ。
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
- ・呼吸器への刺激のおそれ。
- ・眠気やめまいのおそれ。
- ・長期又は反復暴露による血液/肝臓の障害のおそれ。
- ・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
- ・水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- ・静電気放電や火花による引火を防止すること。
- ・個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
- ・保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ・ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・取扱後はよく手を洗うこと。

救急処置

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

- 火災の場合 ・適切な消化方法をとること。
- 吸入した場合 ・空気の新鮮な場所に移動し、徴候・症状が持続する場合は医師の診断受けること。
- 飲み込んだ場合 ・無理して吐かせないこと。
・口をすすぐこと。
・直ちに医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 ・水で数分間、注意深く洗うこと。
・コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合 ・多量の水と石鹼で洗うこと。
- 衣類にかかった場合 ・直ちにすべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 次の時は医師の診断を受けること ・飲み込んだ時。
・暴露又はその懸念がある時。
・眼の刺激が持続する時。
・皮膚刺激がある時。
・気分が悪い時。

保管 ・容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

廃棄 ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS 番号	含有量(%)	化審法	安衛法
n-ヘプタン	142-82-5	98.8	既存化学物質	公表物質
アセトン	67-64-1	0.2	既存化学物質	公表物質
フッ素樹脂	—	1.0	少量新規化学物質	少量新規化学物質

4. 応急措置

- 【吸入した場合】 ・空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
・気分が悪い時は医師の手当て/診断を受けること。
- 【皮膚に付着した場合】 ・皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。
・皮膚刺激があれば、医師の診断/手当てを求めること。
・気分が悪い時は医師を呼ぶこと。
- 【眼に入った場合】 ・一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。不十分であると不可逆的な眼の傷害を生ずるおそれがある。
・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
・眼の刺激が持続する場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 【飲み込んだ場合】 ・直ちに医師の連絡すること。
・口をすすぐこと。
・吐かせないこと。
- 【予想される急性・遅発性症状】 ・唾液分泌過多/顔面紅潮/咳/めまい/眠気/頭痛/陶酔状態/咽頭痛/吐気/嘔吐/意識喪失/呼吸停止/麻酔作用/皮膚刺激/皮膚水泡/吸入による咳/疲労感/など

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

- 【応急措置をする者の保護】 ・救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
【医師に対する特別注意事項】 ・安静と医学的な経過観察が必要。
-

5. 火災時の措置

- 【消火剤】 小火災 ・二酸化炭素/粉末消火剤/散水/耐アルコール性泡消火剤
大火災 ・散水/噴霧水/耐アルコール性泡消火剤
【使ってはならない消火剤】 ・棒状注水
【特有の危険有害性】 ・火災によって刺激性/毒性/腐食性のガスを発生するおそれがある。
・極めて燃えやすい。熱/火花/火災で容易に発火する。
・加熱により容器が爆発するおそれがある。
・屋内/屋外又は下水溝で蒸気爆発の危険がある。
【特有の消火方法】 ・散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
・危険でなければ火災区域から容器を移動する。
・移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
・消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
【消火を行う者の保護】 ・消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 【人体に対する注意事項】
保護具及び緊急時措置 ・漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
・直ちに、すべての方向の適切な距離を漏洩区域として隔離する。
・作業者は適切な保護具(「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
・風上に溜まる。低地から離れる。
・密閉された場所に入る前に換気する。
【環境に対する注意事項】
回収・中和 ・河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
・少量の場合、乾燥土・砂・不燃材料で吸収し、あるいは覆って、密閉できる容器に回収する。
・大量の場合、盛土で囲って放出を防止し安全な場所に導いて回収する。
封じ込め及び浄化の方法 ・機材・危険でなければ漏れを止める。
【二次災害の防止策】 ・漏出物を取り扱うときに用いるすべての設備は接地する。
・蒸気発生の多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。
・排水溝/下水溝/地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
・関係個所に通報し応援を求める。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- 【取扱い】
技術的対策 ・「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
・周辺での高温物/スパーク/火気の使用を禁止する。禁煙。
局所排気・全体換気 ・「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
・液の漏洩や蒸気の発散を極力防止する。
安全取扱い注意事項 ・眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

- ・眠気/めまい/呼吸器の刺激/器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触/吸入/飲み込みをしてはならない。
 - ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
 - ・取扱後はよく手を洗うこと。
 - ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- 接触回避 ・「10. 安定性及び反応性」を参照。
 ・高温物/スパーク/火気を避け、酸化性物質/有機過酸化物との接触を避ける。
- 【保管】
- 技術的対策 ・熱/火花/裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。
 ・容器を密閉して換気の良い場所で貯蔵する。
- 保管条件 ・冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。
 ・酸化剤から離して保管すること。
 ・容器は直射日光や火気を避けること。
 ・保管場所は耐火構造、床は不浸透性のものとし、地下への浸透や外部への流出を防止する。
 ・指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。
- 混触危険物質 ・「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 容器包装材料 ・消防法及び国連輸送法規で規程されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 【管理濃度】 <アセトン>500ppm
- 【許容濃度】 日本産業衛生学会<アセトン>200ppm <n-ヘプタン>200ppm
 ACGIH ・TLV-TWA <アセトン>500ppm <n-ヘプタン>400ppm
 ・TLV-STEL <アセトン>750ppm <n-ヘプタン>500ppm
- 【設備対策】
- ・防爆の電気/換気/照明機器を使用すること。
 - ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 - ・この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。
 - ・空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
 - ・「火気厳禁」「関係者以外立入禁止」等の必要な標識を見やすい個所に掲示すること。
 - ・安全管理のために状況に応じてガス検知器を設置すること。
- 【保護具】
- 呼吸器の保護具 ・適切な呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク、高濃度の場合は送気マスク空気呼吸器)を着用すること。
- 手の保護具 ・適切な保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 ・保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 ・保護靴、耐油性(不浸透・静電気防止対策用)前掛け、防護複(静電気防止対策用)等の保護具を着用すること。
- 【衛生対策】
- ・保護具は保護具点検表により定期的に点検すること。
 - ・取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 【物理的状態・形状・色】 ・淡黄色透明液体～淡黄色微濁液体
- 【臭い】 ・刺激臭
- 【pH】 ・データなし

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

【融点】	・データなし<アセトン>-95℃ <n-ヘプタン>-91℃
【沸点】	・データなし<アセトン>56.5℃ <n-ヘプタン>98℃
【引火点】(密閉式)	・-4℃
【発火点】	・データなし<アセトン>540℃ <n-ヘプタン>285℃
【爆発範囲】	・データなし<アセトン>202-13 <n-ヘプタン>1-7 (vol%)
【蒸気密度】(空気=1)	・データなし<アセトン>2.0 <n-ヘプタン>3.46 (g/cm ³)
【密度】	・0.69(20℃)
【溶解度】	・水に不溶
【オクタノール/水分配係数】	・データなし<アセトン>-0.24 <n-ヘプタン>4.66 (log Pow)
【分解温度】	・データなし
【臭いのしきい値】	・データなし
【蒸発速度】(酢酸ブチル=1)	・データなし
【燃焼性】(固体・ガス)	・該当しない

10. 安定性及び反応性

【安定性】	・通常の取り扱い条件では安定。
【危険有害反応可能性】	・強酸化剤と激しく反応し、火災/爆発の危険性をもたらす。 ・塩酸の存在下、クロロホルムを加えると高い発熱反応を起こす。
【避けるべき条件】	・フレイム及びスパーク発生装置から遠ざける。 ・高温暴露。
【混触危険物質】	・酸化性物質。
【危険有害な分解生成物】	・高温で分解して以下の有害物質を発生する可能性がある。 280℃ → フッ素樹脂モノマー、フッ化カルボニル 450℃ → フッ化水素(HF)

11. 有害性情報

【急性毒性】	
経口	<アセトン> LD50>5000mg/kg(ラット) <n-ヘプタン>データなし
経皮	<アセトン> LD50>5000mg/kg(ウサギ) <n-ヘプタン>データなし
吸入(蒸気)	<アセトン> LD50>75.8mg/l(ラット) <n-ヘプタン> LC50>12927ppm/4h
吸入(ミスト)	<アセトン>データなし <n-ヘプタン>データなし
【皮膚腐食性・刺激性】	<アセトン> ・ウサギの皮膚に対して刺激なし。 <n-ヘプタン> ・ヒトへの影響として皮膚への接触により刺激性が認められるとの報告がある。 ⇒区分 2
【眼に対する重篤な損傷・眼刺激性】	<アセトン> ・蒸気はヒトの眼を刺激する。しかし暴露が止まると刺激性は続かない。 ・ウサギでは severe という結果が報告されている。 ・角膜上皮は破壊されるが、基質までは至らず、角膜上皮の破壊

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

は 4-6 日で回復する。腐食性の眼刺激性ではない。

<n-ヘプタン> ・ウサギを用いた眼刺激試験において軽度な刺激性が認められる、眼を刺激するとの報告がある。

⇒区分 2A-2B

【呼吸器・皮膚感作性】<アセトン> ・Mouse ear swelling test 及び Guinea pig maximization test で陰性。
呼吸器感作性データはなし。

<n-ヘプタン> ・データなし。

【生殖細胞変異原性】<アセトン> ・in vitro 小核試験で陰性。

<n-ヘプタン> ・データなし。

【発がん性】<アセトン> ・ACGIHグループ A4(ヒト発がん性に分類できない物質)

<n-ヘプタン> ・EPA(1996)で D に分類されている。

【生殖毒性】<アセトン> ・疫学調査で流産への影響なし。

・ラットの高濃度暴露でわずかな発生毒性(胎児体重減)が、マウスの高濃度暴露で胎児体重減/後期吸収発生率増が報告されている。

⇒区分 2

<n-ヘプタン> ・データなし。

【特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)】

<アセトン> ・ヒトへの 12000ppm の暴露で喉の刺激、200mL を飲み込んだ男性に昏睡(12 時間後意識回復)、12000ppm 暴露した労働者に頭痛/めまい/足の脱力/失神及びラットの吸入試験で中枢神経抑制が認められている。

・麻酔作用を有する。

・吸入すると上部呼吸器系を刺激する。

・1190、2400mg/m³/6h の暴露で鼻/喉/気管の刺激、1000ppm/4h の暴露で喉の刺激が報告されている。

⇒気道刺激/麻酔作用:区分 3

<n-ヘプタン> ・ラット又はマウスを用いた吸入暴露試験において麻酔作用及び気道刺激性が認められたとの報告、ならびにヒト暴露例において中枢神経抑制や粘膜刺激性が認められたとの報告がある。

⇒気道刺激/麻酔作用:区分 3

【特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)】

<アセトン> ・ボランティアによる試験で 500ppm、6 時間/日、6 日の暴露群に白血球、好酸球の有意な増加及び好中球の貧食作用の有意な減少が観察されている。

・ラット、マウスの試験でもガイダンス上限値を大きく超えた投与量ではあるが、ヒトに見られたと同様な血液学的変化が認められた。

⇒血液:区分 2

<n-ヘプタン> ・肝臓に影響を与え機能障害を生じることがあるの報告がある。

⇒肝臓:区分 2

【吸引性呼吸器有害性】

<アセトン> ・動粘性率は計算値で 0.426mm²/sec、化学性肺炎の動物データが無いが、C13 以下のケトンである。

⇒区分 2

<n-ヘプタン> ・炭化水素であって、かつ動粘性率が 20°C で 0.61mm²/sec である。

⇒区分 1

12. 環境影響情報

【水棲環境急性有害性】<アセトン> ・魚類、ファットヘッドミノール LC50>100mg/L/96H ⇒ 区分外

<n-ヘプタン> ・甲殻類ミシッドシュリンプ LC50=0.1mg/L/96H(HSDB2006) = 区分 1

【水棲環境慢性有害性】<アセトン> ・難水溶性でなく、急性毒性が低いことから、区分外。

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

〈n-ヘプタン〉・データなし。

【地球温暖化係数】 〈アセトン〉・データなし。

〈n-ヘプタン〉・データなし。

【オゾン層破壊係数】 〈アセトン〉・データなし。〈n-ヘプタン〉・データなし。

13. 廃棄上の注意

【残余廃棄物】 焼却処分が望ましい。燃焼生成物はフッ化水素を含有する。

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の規準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性・有害性を十分告知の上処理を委託する。

【汚染容器及び包装】 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

【国際規制】

海上規則情報 ・IMO の規定に従う。
 UN No. 1993
 Proper shipping name Flammable liquid n.o.s.
 Class 3
 Packing Group II
 Marine Pollutant Not applicable

航空規制情報 ・ICAO/IATA の規定に従う。
 UN No. 1993
 Proper shipping name Flammable liquid n.o.s.
 Class 3
 Packing Group II

【国内規制】

陸上規制情報 ・消防法の規定に従う。

海上規制情報 ・船舶安全法の規定に従う。

国連番号	1993
品名	引火性液体類
クラス	3
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当

航空規制情報 ・航空法の規定に従う

国連番号	1993
品名	引火性液体類
クラス	3
容器等級	II

【特別の安全対策】

SDS 登録 No.00330192-JP2

製品名 レクサス純正ソフトトップコート 本剤

- ・危険物は当該危険物が落下し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
- ・危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
- ・危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するために応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関やその他の関係機関に通報すること。
- ・食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
- ・移送時にイエローカードの保持が必要

15. 適用法令

- | | |
|-------------------|---|
| 【化審法】 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存化学物質(溶剤成分) ・少量新規化学物質(樹脂成分) |
| 【労働安全衛生法】 | <ul style="list-style-type: none"> ・公表物質(溶剤成分) ・少量新規化学物質(樹脂成分) ・名称等を通知すべき有害物(アセトン、n-ヘプタン)
<法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2、別表第 9> ・名称を表示すべき有害物(アセトン、n-ヘプタン)
<施行令第 18 条> ・危険物/引火性の物(アセトン、n-ヘプタン)
<施行令別表第 1 第 4 号> ・第 2 種有機溶剤等(アセトン)
<施行令別表第 6 の 2・有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 4 号> |
| 【消防法】 | <ul style="list-style-type: none"> ・第 4 類引火性液体第一石油類非水溶性液体
<法第 2 条第 7 項危険物別表第 1> |
| 【船舶安全法】 | <ul style="list-style-type: none"> ・引火性液体類 |
| 【航空法】 | <ul style="list-style-type: none"> ・引火性液体 |
| 【水質汚濁防止法】 | <ul style="list-style-type: none"> ・フッ素及びフッ素化合物(施行令 2 条第 25 号) |
| 【土壌汚染対策法】 | <ul style="list-style-type: none"> ・フッ素及びフッ素化合物(施行令 1 条第 21 号) |
| 【下水道法】 | <ul style="list-style-type: none"> ・フッ素及びフッ素化合物(施行令 9 条の 4 第 26 号) |
| 【廃棄物処理及び清掃に関する法律】 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物(第 2 条第 4 項) |

16. その他の情報

- | | |
|--------|---|
| 【参考文献】 | 各原料の安全データシート |
| 【注記】 | <p>本安全データシートの記載内容中の数値は保証値ではありません。
 本注意事項などは通常的な取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合には十分なお配慮を願います。また危険性有害性のデータは必ずしも十分とは言えませんので、取り扱いにはよりいっそうご注意ください。</p> |